

バレエアーツ保護者各位

平成 31 年 3 月

## ドラマクラス開講・参観のお知らせ

日頃よりバレエアーツスクールにご協力を賜りありがとうございます。  
新プルミエール1年生の皆さん、待ちに待ったドラマクラスが始まります！  
バレエアーツでは、単に回ったり跳んだりすることだけでなく、子どもたちが自ら考え、思いや意図を身体表現や舞踊で伝える訓練も、非常に重要なバレエ教育の一環であると考えています。バレエアーツにしかないバレエ教育の成果をお楽しみになさってください。

### ★プルミエール・ドラマクラス★

担当教師：佐々木彩里

4月6日 土曜：午後1時45分～3時45分

6月22日土曜：午後2時00分～4時00分（※）

\*5月のドラマクラスはスタジオスケジュールの都合により休講となります。

\*発表会リハーサル期間の（※）6月～10月は午後2時00分～4時00分となりますのでお間違いのないようお願いいたします。

\*7月以降の開講日に関しては、後日スケジュールでお知らせいたします。

持ち物：レオタード、タイツ、バレエシューズ、シニヨン、筆記用具、ノート

また、保護者の皆様にもクラスの様子をご覧いただきたく、保護者参観を開催致します。

当日はレッスン開始前にスタジオにご入室ください。

**保護者参観日時：6月22日（土） 午後2時00分～4時00分**

以上、よろしく願いいたします。

バレエアーツスクール

## 越光照文先生（桐朋学園演劇短期大学 学長）による推薦文

BALLET ARTSによる『ドラマクラス「身体表現で思いや意図を伝える」ためのレッスン』を推薦いたします。上記プロジェクトは、バレエ教室BALLET ARTSのドラマクラスにおいて、小学校3年生以上の児童・生徒を対象に行われています。

ロシアのバレエ学校がスタニスラフスキー・システムによる演技訓練を教育課程に取り入れていることはつとに知られていますが、日本ではまだそのようなプログラムをもつバレエ教育機関はほとんどないようです。そうした中で、スタニスラフスキー・システムを応用し、子どもたちの想像力・表現力を育てているのが、BALLET ARTS のドラマクラスです。バレエダンサーにドラマ教育が有効なことはいうまでもありませんが、子どもたちの自主性・人間性を育むうえでもドラマ教育が果たす役割はたいへん大きいと考えています。

同ドラマクラスでは、グループでイメージを共有するところから始め、ストーリーを紡ぎ、演劇作品を完成させていきます。こうしたドラマ教育を通じて、想像力を働かせながら自ら創造することの楽しさを知ること、自ら課題を発見し、解決する力が自然に養われていくものと思われます。情報テクノロジーが高度に発達する一方、人間関係がますます希薄になりつつある現代社会において、ドラマ教育の役割は今後一層重要になることでしょう。芸術短期大学の学長として、今般のプロジェクトが、さらなる発展を遂げることを心から願っております。